

2005 年度

「行政書士のための特設講座」講義概要

科目名	紛争解決学実務研究	講義 2 単位	氏名	廣 田 尚 久
講義回	日 付	講 義 概 要		
第 1・2 回	5 月 7 日 (土)	〔授業内容〕 法は、裁判規範としての機能を発揮する前に、紛争解決規範としての機能を発揮する。このことに着目すれば、紛争解決の実務と理論を体系的に研究、教育するための紛争解決学が必要となる。その紛争解決学を学ぶことによって、現実の社会で実際に役に立つ実践的な知識と技術を涵養することを講義の目的・ねらいとする。 具体的内容は以下の通りである。 1. 紛争解決学という学問・紛争解決学と私的自治 2. 紛争解決学の成立・紛争解決学の定義と領域 3. 紛争解決の客体 4. 紛争解決の主体 5. 代理人 6. 紛争解決規範（成文法・判例） 7. 紛争解決規範（経済的合理性等） 8. 紛争解決規範（ゲーム理論等） 9. 紛争解決規範の相互関係 10. 紛争解決技術 11. 和解 12. 訴訟の論理構造と和解の論理構造 13. 裁判所 14. 裁判外紛争解決機関 15. 紛争解決の全体像等 〔履修上の注意〕 講義には必ず出席すること 〔教科書〕 廣田尚久「紛争解決学」(信山社) 〔成績評価〕 出席回数及び平常点		
第 3・4 回	5 月 21 日 (土)			
第 5・6 回	6 月 4 日 (土)			
第 7・8 回	6 月 18 日 (土)			
第 9・10 回	6 月 25 日 (土)			
第 11・12 回	7 月 9 日 (土)			
第 13・14・15 回	7 月 23 日 (土)			

--	--	--

--	--	--

--	--	--